

## 港湾設計業務シリーズ（数値解析）ソフトウェア価格表

(税別)

ソフトウェア名称	概 要	ご提供価格
<b>港内波高計算システム (透過堤モデル)</b>	<p>港内防波堤計画に必要な波高分布をVLG関数を使用して計算するシステムです。</p> <p>港湾形状・波浪諸元に関わらず、また開口部・掘込み部の多数に関わらず入力容易で一括で計算できます。</p> <p>不規則波・規則波に対応しています。</p> <p>港内における多重反射・多重回折の計算ができます。</p> <p>港外からの進入波・港内における反射波・回折波の連続計算が可能です。</p> <p>港湾形状の入力にはタブレット読み込み/DXFファイル読み込み/CSVファイル読み込みなどを用意しています。</p>	<b>¥1,200,000</b>
<b>港内波高計算システム (水深変化モデル)</b>	<p>港内防波堤計画に必要な波高分布をVLG関数を使用して計算するシステムです。</p> <p>港湾形状・波浪諸元に関わらず、また開口部・掘込み部の多数に関わらず入力容易で一括で計算できます。</p> <p>不規則波・規則波に対応しています。</p> <p>港内における多重反射・多重回折の計算ができます。</p> <p>港外からの進入波・港内における反射波・回折波の連続計算が可能です。</p> <p>港湾形状の入力にはタブレット読み込み/DXFファイル読み込み/CSVファイル読み込みなどを用意しています。</p>	<b>¥1,200,000</b>
<b>波浪変形計算システム (エネルギー平衡方程式)</b>	<p>エネルギー平衡方程式に基づいて外郭施設その他の港湾の施設の構造の安定又は水域施設の静穏度等の検討に必要な多方向不規則波の波浪の推定（屈折・浅水・砕波変形）を行います。</p> <p>加えて、回折、反射、透過の計算が可能のように機能拡張されています。</p> <p>砕波変形は、「合田による砕波指標（1975）」を適用し、砕波減衰項を導入しています。</p> <p>回折機能は、「波の回折を考慮した多方向不規則波の変形計算モデルに関する研究 間瀬・高山ら(1999)」により、拡張されています。</p> <p>透過機能は、「浅海域における波浪変形計算法の拡張鈴木ら(1994)」により、拡張されています。</p> <p>砕波変形を考慮しない場合、換算沖波波高の算出が可能です。</p> <p>作図図面は、コンター図・デジタルマップ図・カラーコンター図・ベクトル図を用意し、それぞれ有義波高・有義波高比・換算沖波波高・換算沖波波高比が作図可能です。</p> <p>デジタルマップ図では、波向き作図も可能です。</p>	<b>¥980,000</b>
<b>波浪変形計算システム (非定常緩勾配方程式)</b>	<p>非定常緩勾配方程式に基づいて、外郭施設その他の港湾の施設の構造の安定又は水域施設の静穏度等の検討に必要な波浪の推定を行います。</p> <p>多方向不規則波については、各方向別に算出した非定常緩勾配方程式の結果を重ね合わせるにより算出します。</p> <p>非定常緩勾配方程式を用いることにより、波の主要な変形である屈折・浅水変形・回折・反射・砕波を同時に取り扱うことが可能です。</p> <p>地形形状の入力には、タブレット読み込み、DXFファイル読み込み、CSVファイル読み込みなどを用意しています。</p>	<b>¥1,800,000</b>
<b>AECネットワークマネージャー</b>		<b>¥98,000</b>

※詳細につきましては、カタログまたは弊社HP (<http://www.aec-soft.co.jp/public/product.htm>) をご参照ください。

